



次世代AI 株式戦略ファンド

追加型投信／内外／株式



お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

岡三証券

商号等：岡三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資対象ファンドの運用は



ブレイクスルー

人類最大の転換点

次世代AI※、それはヒトの限界を超える新しい可能性

2022年にChatGPTが登場して以来、生成AIはさまざまな分野で急速に普及し、
社会に大きな変革をもたらしてきました。

生成AIをはじめとする次世代のAI技術は、今後さらに進化を遂げ、
かつてないスピードで新たな価値と成長機会を創出します。

当ファンドは、次世代AIを用いて革新的な価値を創出するイノベーター企業と
その発展を支えるインフラ企業に投資を行います。

※次世代AIとは、生成AIを含む未来のAIを指します。

従来のAI

知能レベルで例えるとミツバチ

役割別に特化し、
各個体が特定の
仕事を効率的に
こなす



食べ物の収集



巣の防衛



育児

2025

大きな転換点

ソフトウェアが能動的な
エージェントAIへと進化
すると予測*1

2022

生成AIの登場

OpenAI
「ChatGPT」リリース
わずか2ヵ月でユーザー数が
1億人を突破

AIはさらなる
進化を遂げる

1990~

・IBM「Deep Blue」が
チェス世界王者に勝利

・AIを活用したルート最適化
サービス「Googleマップ」
リリース

2010~

・アップル「Siri」リリース

・アマゾン・ドット・コム*2
「アレクサ」リリース

・AI搭載の自動運転車*3の発売

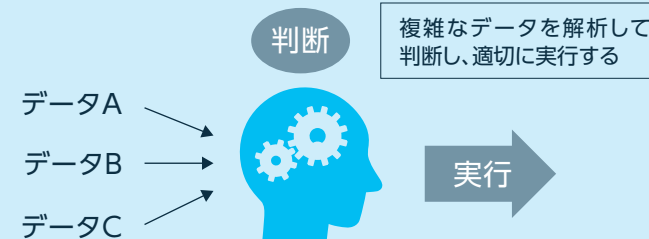
1950~

・「人工知能」という
言葉が誕生

創造性や問題解決能力を備えた新しい知性の形

次世代AI

知能レベルで例えると人間



*1 アクサ・インベストメント・マネージャーズ(以下、アクサIMと表記)による次世代AI市場の見解です。

*2 以下、アマゾンと表記する場合があります。

*3 国土交通省が区分する自動運転レベル3を搭載した自家用車

※上記は、AIに関連する主な出来事示したものであり、すべてを網羅したものではありません。

※個別銘柄の推奨および当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。

※「従来のAI」・「次世代AI」について、当社による見解でありすべてを網羅するものではありません。

(出所)各種資料、報道等、アクサIM

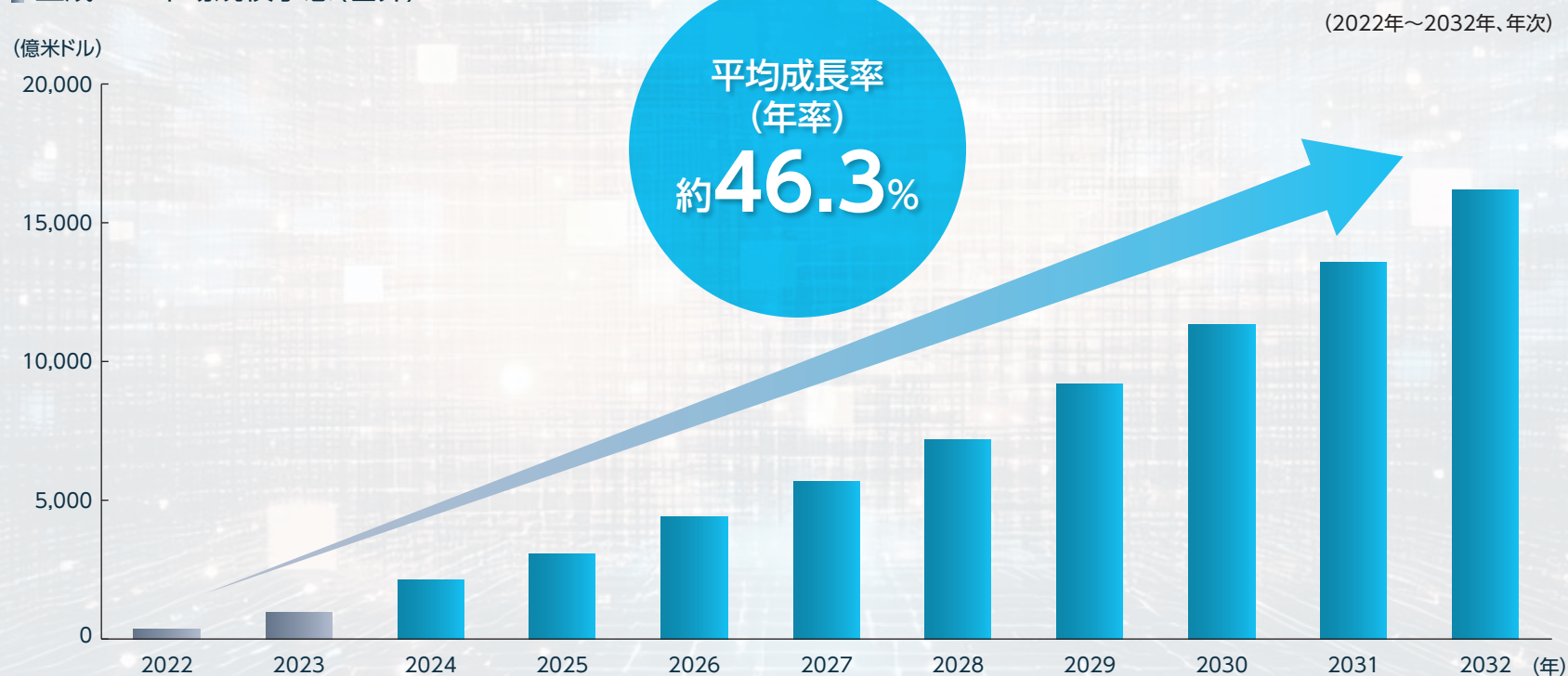
次世代AIの圧倒的なポテンシャル

生成AI市場は、今後10年間で平均成長率46.3%という驚異的なペースで拡大することが予測されています。

過去を振り返ると、オンラインショッピングやスマートフォンの市場が大きく成長する時に、
その代表的な企業であるアマゾンやアップルは大いに飛躍を遂げました。

次世代AI市場の拡大期においても、世界をけん引する革新的な企業の誕生が期待されています。

■ 生成AIの市場規模予想(世界)



※2025年3月24日時点、2024年以降は予想値

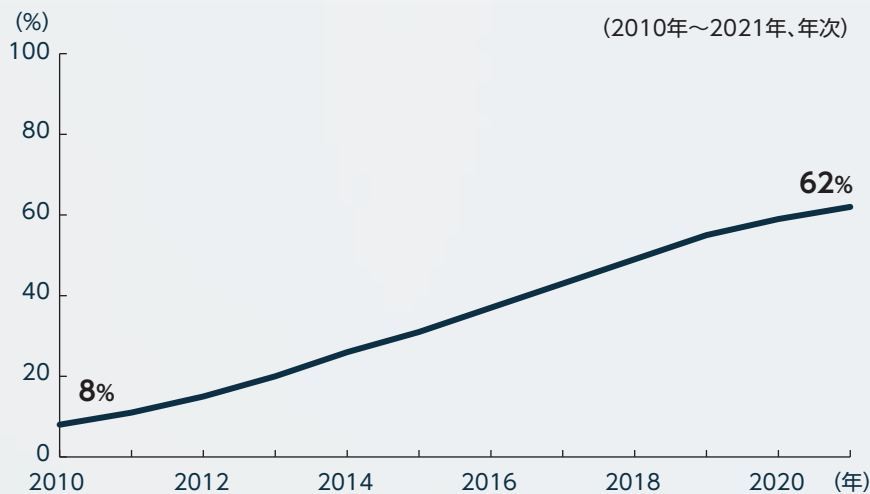
(出所) アクサIM

<ご参考>過去のイノベーション事例

同期間で
アップルの株価は*
約**18倍**

*2010年末と2021年末を比較

■ スマートフォン普及率の推移(世界)



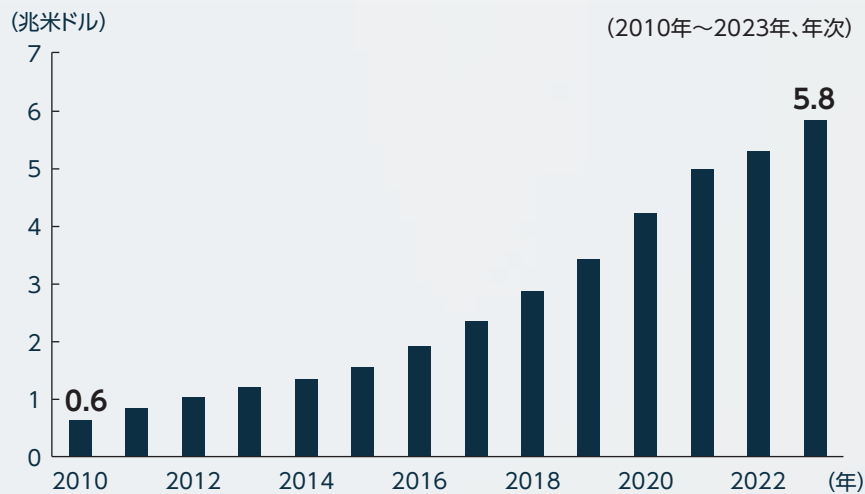
※上記はご参考として示したものであり、個別銘柄の推奨および組み入れを示唆・保証するものではありません。

※写真はイメージです。

同期間で
アマゾンの株価は*
約**17倍**

*2010年末と2023年末を比較

■ 電子商取引市場(BtoC)規模の推移(世界)



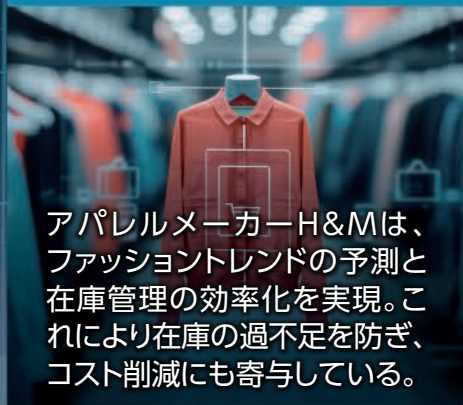
(出所)総務省「情報通信白書」、eMarketer data、アクサIM、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

幅広い分野で革新を実現する次世代AI

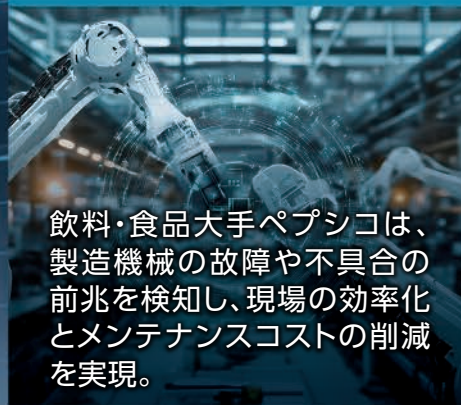
従来のAIが特定のタスクや業務の効率化に貢献してきたのに対し、
次世代AIはさらに進化し、より幅広い分野での革新を実現します。

あらゆる産業に広く活用されることで、これまでにない規模のビジネスチャンスが創出されると考えられます。

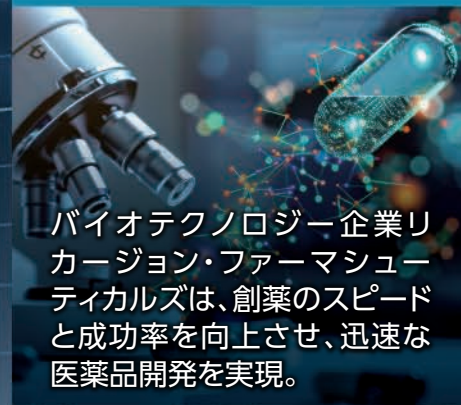




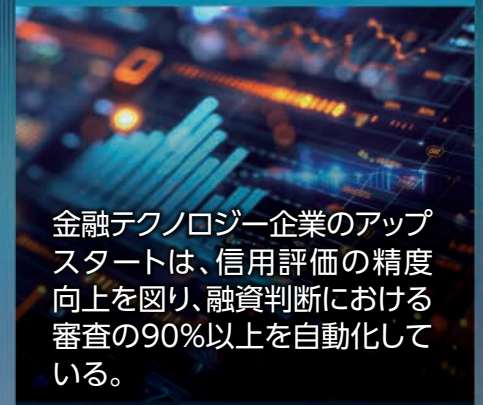
アパレルメーカーH&Mは、ファッショントレンドの予測と在庫管理の効率化を実現。これにより在庫の過不足を防ぎ、コスト削減にも寄与している。



飲料・食品大手ペプシコは、製造機械の故障や不具合の前兆を検知し、現場の効率化とメンテナンスコストの削減を実現。



バイオテクノロジー企業リカージョン・ファーマシューティカルズは、創薬のスピードと成功率を向上させ、迅速な医薬品開発を実現。



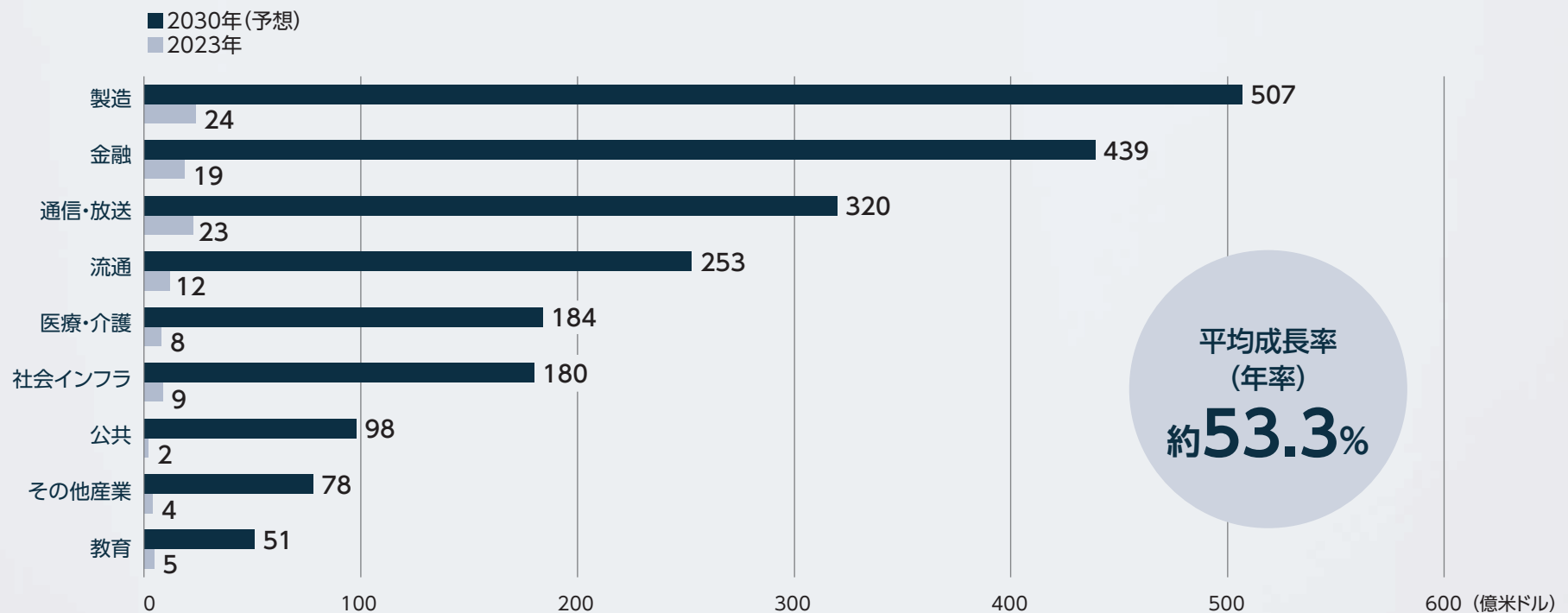
金融テクノロジー企業のアップスタートは、信用評価の精度向上を図り、融資判断における審査の90%以上を自動化している。

※上記はご参考として示したものであり、記載銘柄の推奨および個別銘柄の組入れを示唆・保証するものではありません。

※写真はイメージです。

(出所) 各社コーポレートサイト、IR資料等

生成AI市場における活用産業別の需要額見通し(世界)



(出所) JEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)「生成AI市場の世界需要額見通し(2023年12月発表)」

次世代AIの進化に対応する柔軟な投資戦略

次世代AIの進化に伴って変化する投資機会を捉えるために、次世代AIの発展を支えるインフラ企業と、次世代AIを用いて革新的な価値を創出するイノベーター企業に投資を行います。
各カテゴリーへの投資割合は、市場や技術の進展に合わせて柔軟に調整します。

次世代AIインフラ

基盤や技術等を提供し
次世代AIの発展を支える企業



企業例 エヌビディア、台湾セミコンダクター、アマゾン・ドット・コム 等

次世代AIイノベーター

次世代AIを用いて
革新的な価値を創出する企業



企業例 ネットフリックス、テスラ、パランティア・テクノロジーズ、トリップ・ドットコム 等

※投資カテゴリーは、当ファンドの投資先ファンド「アクサ IM 次世代AI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の運用を行うアクサIM独自の分類。今後変更となる可能性があります。

※上記はご参考として示したものであり、個別銘柄の推奨および組み入れを示唆・保証するものではありません。

次世代AIの市場規模は2040年に約33倍へ!

生成AIを基盤として、自律的な処理を行うエージェントAIや現実世界で活躍するフィジカルAIなど次世代AI技術の登場が期待されています。次世代AIは、幅広い産業への活用が進むことで、世界全体に大きな影響を与え、その市場規模は爆発的な拡大が予想されています。

次世代AIの市場規模予想(世界)

約33兆米ドル



※2022年の次世代AIイノベーターの市場規模はアクサIMによる試算値です。なお、上記はアクサIMによる次世代AI市場の見解を含みます。

※写真はイメージです。

(出所)アクサIM

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

運用を行うのはアクサIMの“イノベーション特化型”チーム

- イノベーション投資戦略の先駆者として高く評価されているアクサIMの投資チームは、世界の成長を牽引するテクノロジー企業を見極める高度な専門性を有しています。
- ポートフォリオ・マネージャーはアナリストを兼任し、自らが企業とのミーティングで得た情報を基に投資判断を行います。また、AI分野における深い知見が高く評価されており、企業や政府にAI戦略のアドバイスを提供した経験を有しています。

最先端技術の投資戦略に知見が深い運用チーム



ポーリン・ランドリック

リードポートフォリオ・マネージャー

CFA資格保有、INPTウールーズで産業工学の学位を取得、パリ・ドゥーフィヌ大学で金融の修士号を取得



トム・ライリー

リードポートフォリオ・マネージャー
グローバル・テーマ株式運用ヘッド

CFA資格保有、ブリストル大学で数学および統計の学位を取得



ジェームズ・ダウイ

リードポートフォリオ・マネージャー

ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスおよび政治科学で経済史の博士号、ケンブリッジ大学で経済学の修士号、エディンバラ大学で経済学の修士号を取得



マット・ウード

ポートフォリオ・マネージャー

フェロー公認会計士、IMC資格保有、エクセター大学でビジネス経済学の学位を取得

チーム運用資産残高

約1兆4,811億円

主要投資戦略

- グローバル・テクノロジー
- ロボテック
- デジタル・エコノミー
- AI&メタバース
- フィンテック

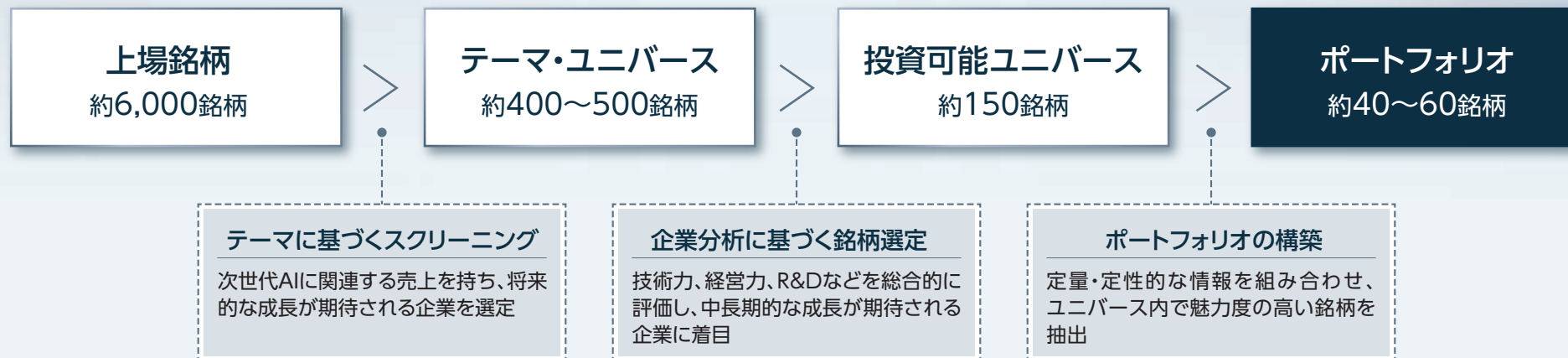
など

※2025年2月28日時点、1米ドル149.67円にて円換算

(出所) アクサIM

投資先ファンドの運用プロセス

投資先ファンド「アクサ IM 次世代AI関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」の運用は、アクサIMが行います。



※通常、時価総額20億米ドル以下の企業や、アクサIMのセクター・ポリシーやESG基準を満たさない企業は除く

※上記運用プロセスおよび銘柄数は、今後変更になる場合があります。

資金動向・市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

アクサ・インベストメント・マネージャーズについて



- アクサIMは、世界最大級の保険・資産運用グループであるアクサ・グループの資産運用部門として、世界19カ国に24の拠点を有しています。
- 1994年に設立され、運用資産残高は約9,233億米ドル(約145兆円)です。

※2024年12月末時点

※運用資産残高は2024年12月末時点、1米ドル157.00円にて円換算



(写真) アクサIM本社

(出所) アクサIM

次世代AIインフラ企業のご紹介



次世代AIのアプリケーション開発を支える
データプラットフォーム企業

モンゴDB

企業概要

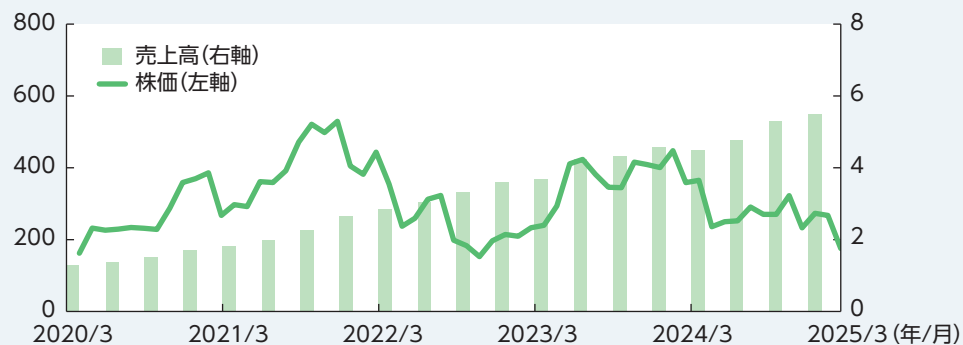
従来のデータプラットフォームでは対応が難しかった非構造化データを管理し、次世代AI活用に最適なデータ基盤を提供。クラウドとの相性も良く、次世代AIを活用する企業にとって欠かせないデータ管理プラットフォームを担う。

運用チームの着目ポイント

- 企業は同社のデータ基盤を活用することで、膨大かつ多様なデータを効率的に管理でき、インフラやアプリケーション開発などのサービス運用コストの大幅な削減(50～70%程度)が期待できる。
- 企業向け「Atlas Vector Search」により、メモリ要件を最大96%削減し、より効率的でコストパフォーマンスの高いAIインフラの提供を実現している。

■ 株価と売上高の推移

(米ドル) 株価：2020年4月～2025年3月、月次 売上高：2020年3月～2024年12月、四半期 (億米ドル)



※写真はイメージです。



次世代AIの計算基盤を支える
世界的リーダー

エヌビディア

企業概要

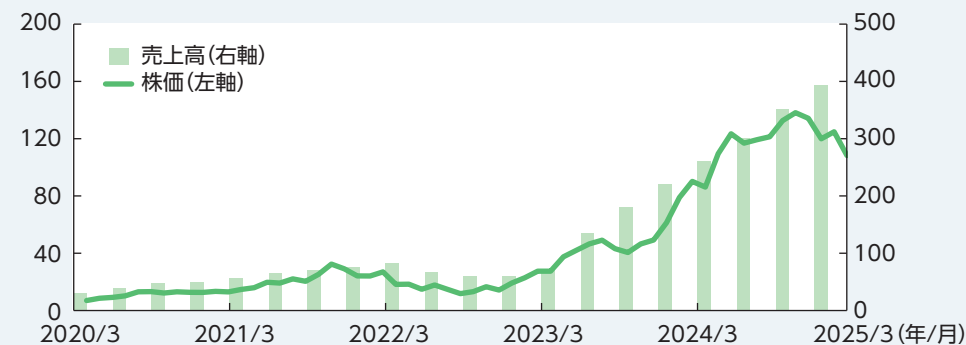
次世代AIを支えるGPU技術で世界をリード。生成AIや大規模言語モデル(LLM)の開発に不可欠なGPUとAIプラットフォームを提供し、膨大なデータの高速かつ効率的な処理を実現。また、データセンターや開発者向けプラットフォームを通じて、次世代AIの革新を強力に推進している。

運用チームの着目ポイント

- 新型のAI向けチップ「Blackwell」は、前世代と比べてAI処理が25倍高速化し、エネルギーコストを20分の1に削減。
- 企業向け分野では、RAG(検索拡張生成)やエージェント型AIワークフローの普及により、前年同期比2倍の成長を達成。

■ 株価と売上高の推移

(米ドル) 株価：2020年4月～2025年3月、月次 売上高：2020年3月～2024年12月、四半期 (億米ドル)



(出所) アクサIM、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

上記は当ファンドにおける投資先ファンドの投資銘柄例の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨および個別銘柄の組入れを示唆・保証するものではありません。

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

次世代AIイノベーター企業のご紹介



次世代AIを政府や防衛、
ビジネス分野に展開

パランティア・テクノロジーズ



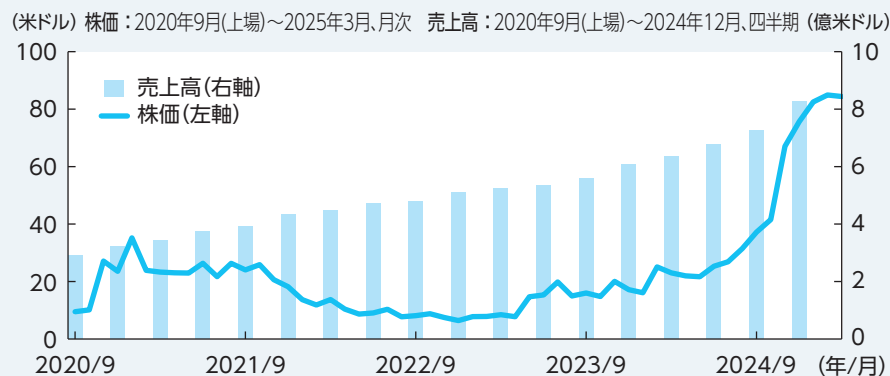
企業概要

高度なデータ解析および人工知能 (AI) を活用したソリューションを提供し、特に政府機関や企業向けのデータ活用支援に強みを持っている。CIA (米中央情報局) や国防総省など米国の政府機関と深い関係を築き、機密データの解析や国家安全保障に関わるプロジェクトを手がけている。

運用チームの着目ポイント

- 売上成長率と営業利益率が非常に高く、さらに売上継続率が120%と突出しており、極めて優れた経営を実現している。
- 同社システムの導入により、自動車部品サプライヤーは設計検証を100時間から数分に、グローバル保険企業は保険引受業務を2週間から3時間に大幅に短縮した。

■ 株価と売上高の推移



※写真はイメージです。



次世代AIとアナリティクスの融合で、
正確でスムーズな判断を可能に

レックス



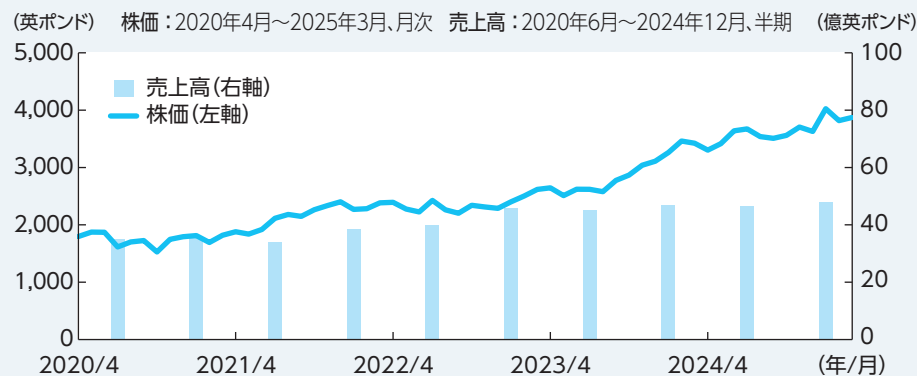
企業概要

法務、リスク分析、科学研究、医療などの分野でAIを活用する情報分析企業。生成AIを活用した法律関連のAIアシスタントや次世代型法務ツールを提供し、情報分析や意思決定を支援。これにより、業務効率の向上とリスク管理の精度改善を実現している。

運用チームの着目ポイント

- 従来、企業の信用リスクの評価や不正検知には多くのコストがかかっていたが、同社の次世代型法務ツール「Lexis+AI」を活用することで業務効率の向上を実現。
- 同社のリスク部門の収益は、90%以上をAIツールの提供により創出されており、今後は別分野にも効率化ツールを展開することで、さらなる成長が期待される。

■ 株価と売上高の推移



(出所) アクサIM、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

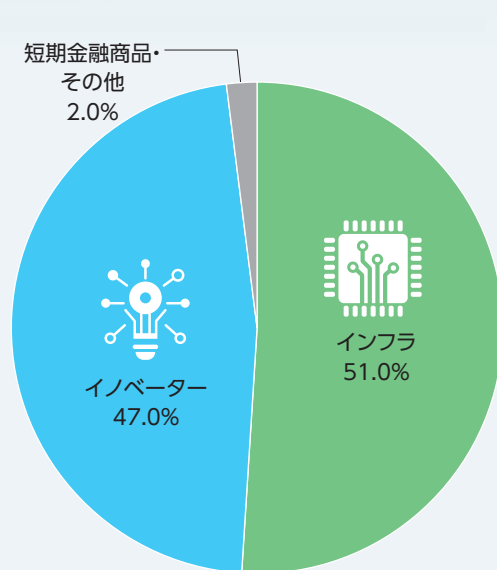
上記は当ファンドにおける投資先ファンドの投資銘柄例の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨および個別銘柄の組入れを示唆・保証するものではありません。

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

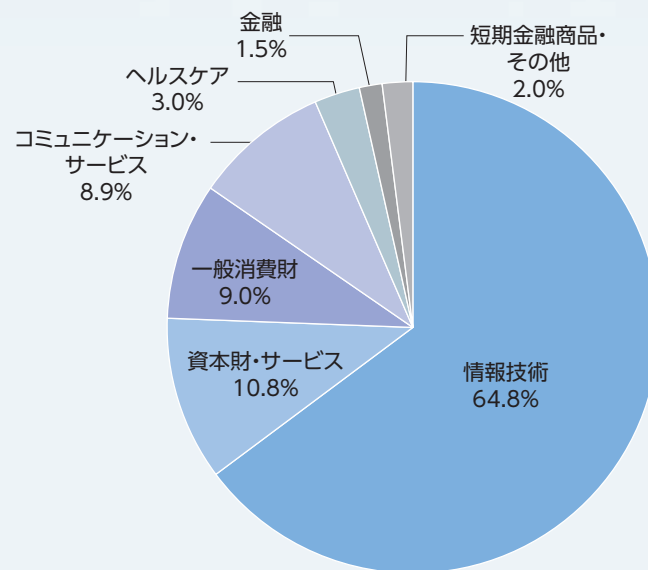
投資先ファンドのモデルポートフォリオ* (2025年3月末時点)

*アクサ IM 次世代AI関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)のモデルポートフォリオ

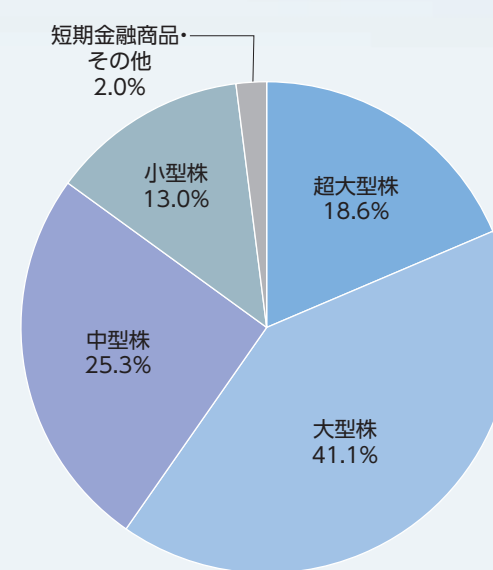
投資カテゴリー別構成比率



業種別構成比率



企業規模(時価総額)別構成比率



※超大型株:5,000億米ドル以上
大 型 株:500億米ドル以上5,000億米ドル未満
中 型 株:100億米ドル以上500億米ドル未満
小 型 株:100億米ドル未満

※各比率は四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

※投資カテゴリーはアクサIM独自の分類であり、今後変更となる場合があります。

※業種はGICS(世界産業分類基準)による分類。時価総額は本資料における分類です。

■ 組入上位10銘柄(組入銘柄数:40)

	企業名	投資カテゴリー	時価総額 (億米ドル)	組入比率	企業概要
1	パランティア・テクノロジーズ	 イノベーター	1,979	4.5%	政府・防衛・企業向けに次世代AI搭載のデータ分析プラットフォームを提供。米CIAや国防総省と連携し、機密データ解析や国家安全保障領域で豊富な実績を持つ。
2	アクソン・エンタープライズ	 イノベーター	403	4.0%	法執行機関向けにクラウドベースの次世代AIソリューションを展開。ボディカメラや証拠管理システムに次世代AIを統合し、安全保障分野での活用が拡大中。
3	モンゴDB	 インフラ	142	3.7%	次世代AIに不可欠な非構造データを効率的に処理できる先進的なデータベースを提供。生成AIの学習・運用を支えるデータ基盤としてのインフラを担う。
4	アップラビン	 イノベーター	901	3.7%	次世代AIを活用したモバイルアプリの収益化・最適化プラットフォームを提供。ユーザー行動のリアルタイム予測や、複数パターンの表示効果を比較して改善につなげる機能に強み。
5	ジェイフログ	 インフラ	36	3.6%	アプリの更新・配信を自動化する開発支援ツールを提供。次世代AI開発の現場でも採用され、開発スピードの向上と品質の改善を両立するインフラ企業。
6	ギットラボ	 イノベーター	77	3.4%	次世代AI開発プロジェクトの管理を一元化するプラットフォーム。コードレビューなどにも生成AIを活用し、開発の質とスピードを向上。
7	クラウドフレア	 インフラ	389	3.4%	エッジコンピューティングとセキュリティに強みを持ち、次世代AIの高速処理や通信を支える。グローバルに広がるAIインフラを構築。
8	エヌビディア	 インフラ	26,445	3.4%	生成AIの学習・推論に欠かせないGPUを提供。次世代AI時代の半導体リーダーとして、エコシステムの拡大をけん引。
9	アーム・ホールディングス	 インフラ	1,126	3.4%	低電力で高効率な次世代AI処理に最適なチップ設計を提供。スマホ・IoT・自動運転など、エッジAI普及の鍵を握る。
10	シノプシス	 インフラ	663	3.4%	半導体設計支援ソフト(EDA)を提供し、AI搭載チップの開発を支える。複雑化する設計ニーズに対応し、次世代AI時代の半導体進化を支える中核企業。

※投資カテゴリーはアクサIM独自の分類であり、今後変更となる場合があります。

上記は当ファンドの投資先ファンド「アクサ IM 次世代AI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の2025年3月末時点のモデルポートフォリオをご参考までに示したものであり、特定銘柄の投資を推奨しているものではありません。また、当該銘柄に投資することを示唆または保証するものではありません。

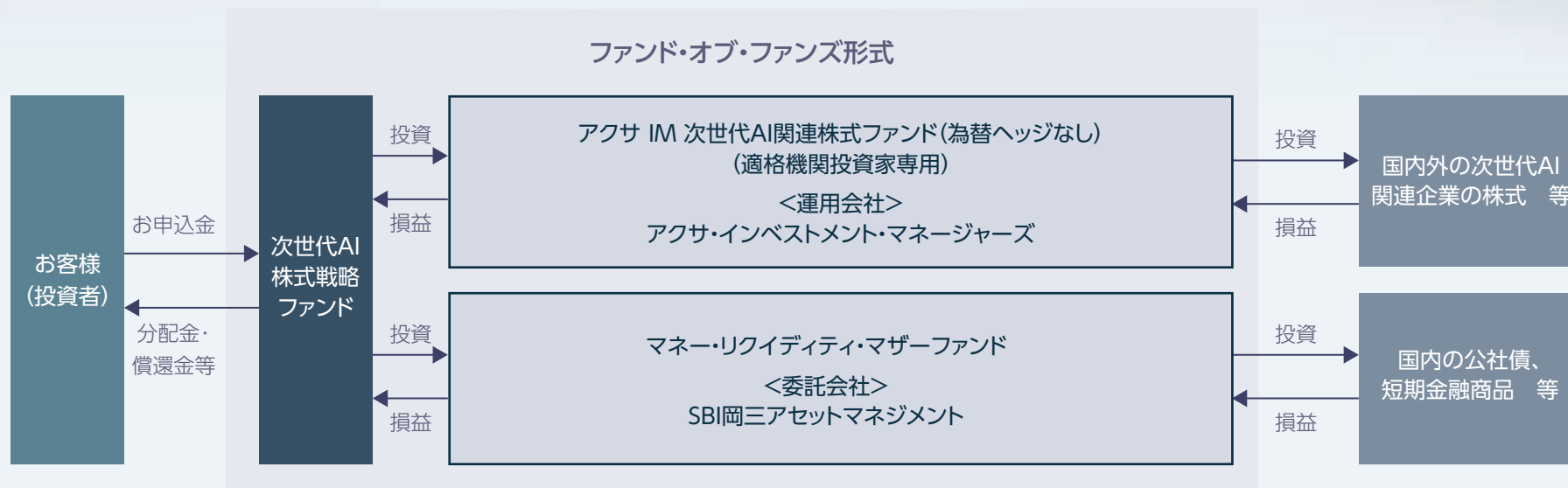
(出所)アクサIMのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

ファンドの特色

1 次世代AI*関連企業の株式に投資します。

- 投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の取引所に上場している次世代AI関連企業の株式(これに準ずるものを含みます。)に投資します。

*次世代AIとは、高度な能力を備え、進化するAI技術を指します。



- アクサ IM 次世代AI関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の組入比率は、高位を保つことを基本とします。

2 ポートフォリオの構築にあたっては、組入候補銘柄から、企業調査などにより、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選定します。

3 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

■主な変動要因

株 価 変 動 リ ス ク	株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。
為 替 変 動 リ ス ク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。
特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク	ファンドは、特定の業種・テーマに関連する企業の株式を組み入れます。そのため、市場全体の値動きと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
信 用 リ ス ク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。
流 動 性 リ ス ク	有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないとき、市況の急変、取引所の閉鎖等により、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となることがあります。

■その他の変動要因

カントリーリスク

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

お申込みメモ

購 入 時	購 入 期 間	当初申込期間：2025年5月26日～2025年6月6日まで 継続申込期間：2025年6月9日～2026年8月10日まで ◆申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新する予定です。
	購 入 単 位	販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	購 入 価 額	当初申込期間：1口当たり1円 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 時	換 金 単 位	販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	換 金 代 金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
そ の 他	購 入 ・ 換 金 申 込 不 可 日	以下に該当する日は、購入・換金申込みの受付を行いません。 ・ニューヨークの取引所の休業日 ・翌営業日がニューヨークの取引所の休業日にあたる日
	信 託 期 間	2045年11月9日まで(2025年6月9日設定) ◆投資信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなった場合、または組入れている投資信託証券が繰上償還となったときなど、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
	決 算 日	5月および11月の各月9日(休業日の場合は翌営業日)
	収 益 分 配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ファンド費用

お客様が直接的に負担する費用

購 入 時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%) ◆詳しくは販売会社にご確認ください。 ◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
換 金 時	換 金 手 数 料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保 有 期 間 中	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年率1.2925%(税抜1.175%) 委託会社 年率0.35%(税抜) ◇委託した資金の運用の対価です。 販売会社 年率0.80%(税抜) ◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。 受託会社 年率0.025%(税抜) ◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	運用管理費用 (信託報酬)の 実質的な負担	純資産総額×年率1.826%(税抜1.66%)程度 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。 なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
	そ の 他 費 用 ・ 手 数 料	監査費用:純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%) 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。 (監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

委託会社およびその他の関係法人

委 託 会 社	投資信託財産の設定、運用の指図等	SBI岡三アセットマネジメント株式会社
受 託 会 社	投資信託財産の保管・管理等	三井住友信託銀行株式会社
販 売 会 社	購入・換金の取扱い等	販売会社の詳細につきましては、右記の委託会社電話番号まで お問合わせいただくか、ホームページをご参照ください。

委託会社お問合わせ先

電話番号

03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■本資料は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基にSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成日時時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■購入の申込みに当たっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補完書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

作成:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

N E X T G E N E R A T I O N

